

年頭あいさつ

(一財)鳥取県労福協 第313号

題字 柴山抱海書

年頭あいさつ

一般財団法人鳥取県労働者福祉協議会

理事長 本川 博孝



あけましておめでとうございます。

ご家族お揃いで初春をお迎えになられたこと、お慶び申し上げます。

旧年中は、労福協運動に対しまして、ご理解とご協力を頂き心より感謝申しあげます。

国内で初めての新型感染症の発症から2年が経過し、この2年間は、新型コロナウイルス感染症との闘いの連続でした。

仕事や住まいを失い困窮に陥った多くの労働者・生活者、学費の納入や奨学金返済に苦しむ若者、倒産や経営危機にある中小・小規模事業者など、社会・経済・市民生活は甚大な打撃を受けました。

格差が拡大し貧困が蔓延する社会の実態をコロナ禍が可視化させ、社会のセーフティーネットが脆弱であることが浮き彫りになり、政治の判断が、直接、私たちの暮らしを左右することを実感しました。

それでも、ワクチン接種が進んだこともあって、感染者数も減少してはいるものの、不安から解消されたわけではありません。引き続き、公的支援の強化を求めていくとともに、感染防止対策を行つていかなければなりません。労働者自主福祉運動が、労働者・生活者の福祉向上に大きな役割を果たしてきましたが、運動領域は拡大し、様々な事に柔軟に対応することが求められています。

すべての働く人の幸せと豊かさをめざし、連帯・共同で安心・共生の福祉社会の実現に向け、みなさんと一緒に全力で活動していくことをお誓い申し上げ新年のごあいさつとします。



中央労福協 第65回定期総会の開催(P7)
(地方労福協からはリモートで参加するハイブリットによる開催)



西部労福協 第39回研究集会の開催(P7)
(人数制限をし、実開催)



新年ご挨拶



日本労働組合総連合会鳥取県連合会
会長 田中 穂

新年あけましておめでとうございます。
皆さまにおかれましては、ご家族お揃いで
新春をお迎えになられたこととお慶びを申し
上げます。

日頃より連合鳥取の運動に対する、ご理解・ご協力に心
より御礼申し上げますとともに、コロナ禍における皆様方
のご奮闘に敬意を表します。

この2年間、コロナ禍で明らかになった社会の脆弱さの
克服はもとより、人口構造・産業構造の変化、防災・減災・
被災地支援等の課題に対応していくためにも、働く仲間に
寄り添い、「必ずそばにいる存在」としての労働組合の真価
が問われています。

すべての働く仲間と職場をまもり、つながり、集団的労
使関係の拡大と追求を通じて新たな活力を創り出していく
取り組みにしていかなければなりません。労働組合の意義
と労使関係の重要性を知る私たちこそが、先頭に立って力
強く牽引していくことが重要であります。

加えて、こういう時だからこそ労働者福祉事業団体との
連携をさらに強化し、コロナ禍を克服するとともに、今後の
不確実な環境変化に適応しつつ、ジェンダー平等・人権・
一人ひとりの多様性が尊重され誰もが将来に希望の持てる
社会、そして地域が中心となり支え合い・助け合いが日常に
根付いた社会へと結びつけいかなければなりません。

連合鳥取は、Face to Faceの取り組みが非常に難しい
中においても、一人でも多くの人の声をしっかりと受け止め、
みんなで力を合わせ心ひとつに運動を前進させていきます
ので、皆さまのご支援・ご協力をお願い致します。

結びに、本年も連合鳥取に対する一層のご支援をお願い
するとともに、皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上
げます。



中国労働金庫鳥取県営業本部
本部長 西村 裕生

あけましておめでとうございます。
2022年の新年を、ご家族とともに健やか
に迎えられたこととお慶び申しあげます。

新型コロナウイルス感染症は、一定落ち着いたかに見
えましたが、新しい変異株が確認されるなど、まだまだ予断を
許さない状況にあります。

こうした状況下で中国労働金庫では、昨年4月から「全
力、お役立ち宣言！」をスローガンに第7期中期経営計画
をスタートさせ、福祉金融機関としての役割を發揮すべ
く、労働者生活支援特別融資制度の一部金利引き下げや住
宅ローンの返済猶予等を行うことで、労働者の生活支援を行
っています。

今後もより多くの労働者の生活に寄り添った「お役立ち」
に全力で取り組んでまいりたいと思います。

厳しい状況ではありますが、本年が皆様にとって、必ず
や良い年となるよう、ともに汗をかいてまいりたいと思
います。

皆様のご多幸をお祈り申しあげます。



こくみん共済coop鳥取推進本部
本部長 松崎 浩哉

新年明けましておめでとうございます。
皆さまにおかれましては、益々ご清祥のこと
とお慶び申し上げます。

旧年中は、こくみん共済coopの運動に対し
まして、特段のご理解とご協力を賜りましたことに心から
感謝申し上げます。

さて、2020年の春先から中国・武漢を起源とした新型
コロナウイルス感染症の蔓延が2年近くも継続し、国民生
活に深刻な影響を及ぼし、日々の仕事や暮らしの在り方も
大きく変化してきています。後手、後手になっている政府
の対応に日々イララしながらも、ウィズコロナ・アフター
コロナの生活を考える必要があるのだろうと思います。
Webでの会議や集会、マスクの着用、手洗い・うがいなどの
習慣も定着しつつあります。アルファ株・デルタ株に続
いてオミクロン株なる変異種も発生しているようで、まだ
まだ心配の種が尽きません。

私たちは、いざという時に備え、少しでも日々の不安を
取り除くことが“たすけあい”的使命であると考え
ています。組合員の皆さまに寄り添い、お役に立てるこく
みん共済coopであり続けるよう、役職員一丸となって取
り組むことをお約束いたします。

2022年が、早期に新型コロナウイルス感染症が収束し、
皆さまにとって明るく、実り多い1年となりますことをご
祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



鳥取県生活協同組合
代表理事 理事長 井上 約

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新しい年を健やか
にお迎えになられたことと謹んでお慶び申し
上げます。旧年中は、弊組合の事業や活動にご理解とご
支援を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年12月に発表された国政調査結果において、鳥取県
の人口は55万3407人となり、5年前との比較において減
少数・減少率とも1920年の調査開始以来最大となり人口
減少に歯止めがかからず、少子高齢化も一層進んでいる
という状況でした。1人世帯が38%を占めるというのも気
になる数値です。日本生協連の調査ではコロナ過で世帯収
入が減少した世帯が約25%にものぼるとの報告もされて
います。世界の急速な変化に取り残される人が増え、格差
や貧困は広がっているといえます。

このような社会の中でますます協同組合の主体的な力量
が期待されていくとは思いますが、また同時に鳥取県労働
者福祉協議会に結集する諸団体の皆様との連携も大変重要
であると考えています。引き続き、地域の中でのたすけあ
いのネットワークの一員としてよろしくお願い致します。

年頭にあたり、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしま
して、新年のご挨拶といたします。



鳥取医療生活協同組合

組合長理事 竹内 勤

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、当組合の活動に格別のご理解、ご協力をいただき厚く感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 第5波が猛威を振るい、鳥取県においても患者が急増、首都圏などでは一時期医療崩壊の危機も叫ばれました。このような中で鳥取生協病院をはじめ当法人の事業所では、COVID-19に対する医療を積極的に展開し、発熱外来、コロナ陽性患者の受け入れ、ワクチン集団接種や職域接種への協力など、地域に大きく貢献し、また行政の要請に応えてきました。国民のワクチン接種も進み、9月末頃より感染状況も改善しましたが、新たな変異株(オミクロン株)の出現もあり、第6波への警戒が必要です。

医療経済面では、コロナ禍受診控えによる患者減の赤字をコロナ関連の補助金にてなんとか黒字を保てた現状であり、今後とも国民のいのちと暮らしを守るために社会保障費の充実を要望していきたいと考えます。

皆様にとりまして、今年も良き年になるように祈念いたします。



鳥取県労働者福祉協議会東部支部

支部長 藤田 浩二

2022年の幕が開けました。皆様におかれましては、新たな年への希望を持って清々しい気持ちで新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は労福協東部支部の活動にご協力いただき、ありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いします。

さて、新型コロナウイルスの影響により生活の変化を求められて、早いもので2年が経ちました。ウィルス感染の脅威に晒されながらも様々な工夫が生まれ、人間の無力さと逞しさを同時に感じています。

昨年はプロ野球・ヤクルトスワローズが日本一の栄冠を勝ち取りました。2年連続最下位からの日本一の栄冠。そこにはリーダーと選手との間にある信頼関係を礎とした「絶対大丈夫!」のフレーズがありました。私たちもこの二年間で築いた礎の上に、「絶対大丈夫!」とパワフルに前を向き、未来の明るい光に向かって歩み始める年となりますよう願っています。

本年も労福協運動へのご賛同をいただきますようお願いするとともに、新しい年が皆様にとって素晴らしい一年になるようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



鳥取県労働者福祉協議会中部支部

支部長 久米 祐介

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。昨年より中部支部長を仰せつかり、至らぬ点も多々あったかと存じますが、皆さまの多大なるご支援・ご協力により無事2022年を迎えることができること、大変感謝しております。

2021年を振り返ってみると、新型コロナウイルス感染症の影響は依然大きく、さまざまな活動が思うようにできない状況が続いておりました。ただ、自粛するだけでなく、きちんと対策をとれば活動することができるということが示された年であったとも思います。最たる例が延期されていた東京オリンピックが無事開催されたことです。アスリートの姿から多くの感動とともに、コロナ禍でもできるんだという勇気をもらえた大会でした。私も、コロナ禍であっても自粛するだけでなく、知恵をしぶり、前向きに

労福協活動に取り組んでいきたいと思います。

結びとなりますが、皆さまにとって2022年が、幸多き年となりますようご祈念申し上げ、簡単ではありますが、新年のご挨拶とさせていただきます。



鳥取県労働者福祉協議会西部支部

支部長 船岡 誠

新年あけましておめでとうございます。

皆さま健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中はコロナ禍で以前のような活動が展開できない中でも、皆様から厚いご支援をいただき、労福協の取り組みを進めることができました。絶大なるご協力とご理解に、心より感謝申し上げます。

今も尚、経済の鈍化や日常生活への影響、そして変異株による感染リスクなど、幾多の不安が拭えない状況にあります。皆様に寄り添い、少しでも安心と喜びを届けて行けたらと思います。

労福協西部支部として、労働者・生活者の幸せと豊かさを追求するため、人と人が助け合い、夢と希望のあふれる社会の実現に向け、地域を元気に、明るく活気あふれる活動を展開して参ります。

本年も、労福協西部支部一同にご支援を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆様のご健康とご多幸を祈念し、新年のご挨拶といたします。



鳥取県中小企業労働相談所「みなくる」

管理運営マネージャー 鈴木 直子

新年あけましておめでとうございます。旧年中は鳥取県中小企業労働相談所「みなくる」への事業に対し、ご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染者数が減少し、様々な活動が再開する中で、みなくるに寄せられる相談ではハラスメントの相談がやや増加傾向です。今年の4月からは中小企業においてもハラスメント防止が義務付けられ、企業はハラスメントを防止するための措置を講じる必要があります。みなくるでは働きやすい職場づくりのお手伝い(講師派遣)を行っておりますが、「働きやすい」とは何なのだろうかと思うことがあります。企業活動は1人ではなく複数人で行うことが多い、常に相手がいます。相手への思いやりや助け合い、お互い様精神で取り組んでいれば、ハラスメントは生じ難く、ハラスメントと捉えられ難いのではないかと考えますが、いかがでしょうか。

マスク生活が続く中ではありますが、相手への思いやりや感謝の気持ちを忘れず表現し、困っている人がいれば手を差しのべ声掛けができる、そんな人間でありたいですし、またそんな職場づくりのお手伝いをしていきたいと考えています。

皆様が、心身ともに健康で活き活きと働き続けられる一年になることを祈念して、新年のご挨拶といたします。

目次

新年ご挨拶	P2 - P3
ろうきん・こくみん共済coopからのお知らせ	P4 - P5
労福協支部事務局便り	P6
西部労福協第39回研究集会	P7
中央労福協第68回定期総会	P7
2021年度全県研修会開催報告	P8
第32回囲碁・将棋大会開催のお知らせ・最低賃金	P8

会員限定! 情熱金利!!
会員のみなさまの
熱い声に応えて金利引き下げ!!

<ろうきん>全力! お役立ち!!
カーライフローン

188%

要動金利
適用金利
年利
保証料込み

くわしくはこちら▼

QRコード

以下のいずれかの項目に該当される方が、対象となります

- ①29歳以下またはフレッシャーズ(勤続1年目)の方
- ②0歳から大学院在学中のお子さまをご本人または配偶者さまが扶養している方
- ③<ろうきん>無担保ローン(証書貸付)をご利用中または、以前にご利用されていた方
- ④ネットからWeb完結スキームでお申込みの方

上記4項目のいずれにも該当されない方は、右記の金利でご利用いただけます。

→ **1.98%**

ご融資限度額 **最高1,000万円**

ご返済期間 **最長10年**

●マイカーに関する費用
●マリンスポーツに関する費用
●他金融機関やディーラーの自動車ローンの借換費用

※事業性資金または、業務用車両にはご利用いただけません。
※Web完結スキームによる借換えのお取扱いについては、<中国ろうきん>ホームページをご確認ください。

●お申込条件 / ○申込時の年齢が満18歳以上で完済時年齢が満76歳未満の方 ※Web完結スキームでお申込みの場合、お申込み時満20歳以上の方が対象です。 ○金庫の定める保証機関の保証を受けられる方 ●ご返済方法／元利均等毎月返済または元利均等毎月・ボーナス併用返済 ●保証／(一社)日本労働者信用基金協会 ●担保／不要
※審査の結果、ご融資できないなど、ご希望に添えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。※くわしい説明書が必要な方は店頭へお申し出ください。 ※返済額について試算をご希望の方は、<中国ろうきん>のホームページをご利用いただくか、店頭にお申し出ください。

あなたのその保障、点検してみませんか！

こくみん共済 NEWS



公式キャラクター
ピックくん

// もしも の備えに！ //

保障点検 キャンペーン

2021年12月1日～2022年3月31日まで

こくみん共済coopでは2021年度下期の取り組みとして『保障点検キャンペーン』を実施します。いまご契約の生命・医療、住まい、お車の保障内容について適正な保障かどうかを確かめます。契約した時のままにしている方も多いのではないでしょうか。本当に必要とする保障はなにか、現在のライフスタイルに合せて最適化するため、定期的に保障を点検することをおススメします。ぜひこの機会にお気軽にご相談ください。

◆◆◆◆◆ 「7才の交通安全プロジェクト」横断旗寄贈のご報告 ◆◆◆◆◆

『7才の交通安全プロジェクト』も鳥取県労働者福祉協議会とともに取り組んで3年目を迎えました。

2021年11月16日（火）に、今年4月に引き続き県内の園児・小学生の交通安全に役立てていただきたいとの願いを込めて、こくみん共済 coop 鳥取推進本部の松崎本部長から鳥取県交通安全協会に横断旗770本を寄贈いたしました。

寄贈された横断旗は、県交通安全協会を通じ各地区協会に配られ、交通安全教室や通学路の横断歩道に設置するなど、正しい交通ルールと交通マナーを実践し、交通事故を防止する活動に活用されます。

今後もこくみん共済coopは、子どもの交通事故防止のため、安全な社会づくりを目指し社会活動に取り組んでまいります。



左から労福協・安部専務、本川理事長、交通安全協会・青木専務、松崎本部長



たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済（全労済）

全国労働者福祉協議会連合会 COOP

「こくみん共済 coop」は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

**労福協
東部支部**

街頭福祉カンパ 2年ぶりに実施！！

労福協では、勤労者福祉向上に向けた様々な取り組みの中の一つとして、将来を担う子どもたちが健康で豊かな生活を送るための

- ①子どもたちが、安心して過ごすことができる場を目指す「子ども食堂」への支援
- ②子どものいのちや生活を守る「子ども電話相談」の活動充実に向けた支援
- ③子どもにかかる福祉施設等への支援
- ④小規模作業所等への支援
- ⑤交通事故・災害等から子どもを守る活動への支援

を目的とした福祉カンパ活動を行っています。



1979年から続くこの福祉カンパ活動ですが、東部支部では、街頭福祉カンパを12月11日(土)に市内5か所(トスク本店、カインズホーム、サンマート湖山店、イオン鳥取店、イオン鳥取北店)で行いました。昨年度は新型コロナの影響で実施できなかったので、2年ぶりの街頭カンパとなりました。季節柄、寒さを心配しておりましたが、当日は暑いくらいの天候となり、防寒対策をばっちりしていた私は逆に汗が出るほどでした。

そんな中、各産別から集った組合員の福祉カンパ協力への呼びかけにより、多くの方々が足を止めてカンパに協力してくださいました。その結果、総額237,184円ものカンパ金が集まりました。集まったお金は、子どもたちのために大切に使わせていただきたいと思います。街頭に立ってくださった組合員の皆さん、カンパにご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

なお、職域カンパは1月31日(月)までとなっております。引き続きのご協力よろしくお願ひいたします。

最後に、「福祉カンパ活動」を通して、労福協の理念が実現されることを祈念し、みなさまご唱和ください！

「すべての働く人の幸せと豊かさを目指して、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう！」

1, 2, 3, ダーッ！！


**労福協
中部支部**

「福祉事業団体運動推進」学習会を開催

コロナ禍により、長らく行事を開催できない状況が続いていましたが、11月22日(月)に中部教育会館において感染対策を講じながら支部学習会を開催しました。

学習会冒頭に、こくみん共済coop・労金より事業団体の推進強化の取り組みについて報告を受けたのち、子どもと女性のエンパワメントe・ラボ代表の繁原美保さんを講師にお迎えして、「人権尊重の職場づくり～ハラスメント防止の取り組み～」と題して講演をいただきました。

講演では、ハラスメントは言動を行う者の意図のあるなしに関わらないもので、明確な人権侵害である。初めは「勘違いかな」程度のことから始まり、だんだん強くなっているときには言うことが出来なくなっていることが多い。気になることがあれば、メモでも録音でも記録を残すことが大切。被害を受けた人は、その時は「考えたくない、忘れない」との心理から変わらない態度に見えることが多いので、周りが気づいてあげてほしい。ハラスメント防止の方針を社内で明確化し啓発を行うことは抑止効果が高い。など、普段相談を受けている実例を交えながらわかりやすい話をしていただきました。



誰もが、いつ自分が「する側」「される側」になるかわかりません。十分に気を付けていきたいと思います。

今後の予定

- ・12/19(日) 街頭福祉カンパ(倉吉市内スーパー等4か所)
- ・1/4(火)～11(火) 書き初め・写真展作品募集
- ・1/14(金)～19(水) 書き初め・写真展(パープルタウン1F催事場)

**労福協
西部支部**

第18回労福協（社会貢献）まつり開催！

◇第18回労福協まつりを今年度も新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、内容を社会貢献主体に11月14日(日)、米子市産業体育館で開催した。新型コロナウイルスの影響で全国的に血液が不足しているので、昨年同様「献血」を主体に取り組み、64人の協力を得ることができました。また、フードドライブも各構成組織からたくさんのご協力があり、集まった食材は”えんたく”に寄贈しました。



◇11月29日(月)、コンベンションセンターにて、「福祉事業団体運動推進学習会」を48人の参加のもと、開催しました。ろうきん運動推進委員会からは、「勤労者の資産形成」、こくみん共済coop推進部会からは、「火災共済(助け合い)の歴史」の講義を受け、全体で「労働者自主福祉運動」をさらに進めることを確認しました。

◇12月11日(土)年末街頭福祉カンパを米子市内三店舗7ヶ所で行いました。当日は寒さも和らぎ、参加者49人が大きな声で福祉カンパを呼びかけました。昨年を上回るカンパが集まりました。将来を担う子どもたちが豊かな生活をおくるために使わせていただきます。

【今後の予定】

- ◇12月22日(水)カンパ基金贈呈 施設3か所
- ◇1月13日(木)第68回勤労者美術展作品搬入(米子市美術館)
- ◇1月18日(火) 2022新春のつどい(ANA)



西部労福協第39回研究集会の開催

参照：表紙写真

2021年11月4日(木)～5日(金)愛媛県松山市において、コロナ禍での開催のため各県労福協で人数を絞り総勢41名と、コンパクトな研修会となりました。鳥取県からは本川理事長他2名が参加いたしました。西部労福協、森会長の挨拶の後、研究講演が始まり、講演1「シングルマザー交流会」「まつやま子ども食堂」代表 野中玲子さんより「まつやま子ども食堂の取り組み」では、コロナ禍での子ども食堂を運営する中で、シングルマザーの貧困やDVを逃れた女性・家族の生活苦、厳しすぎる福祉制度の実態が語られました。講演2中央労福協事務局次長 遠藤孝一さんより「『2030ビジョン』について」では、労福協の歩みから2030年ビジョン、その実現とコロナ禍での労働者自主福祉活動の取り組みについて説明を受けました。講演3中央労福協講師団講師 高橋均さんより「ライフサポートセンター事業が誕生したいきさつ」についてでは、当時の時代状況を振り返りながら、「地域に顔の見える」連合運動とライフサポート事業の関係性、現状と課題などについて講演を受け、本研究集会を終了しました。

中央労福協第65回定期総会の開催

参照：表紙写真

2021年11月26日(金)に東京「ホテルラングウッド」を会場とし、地方労福協からは、リモートで参加するハイブリットによる開催となりました。参加代議員210名、鳥取より本川理事長と安部専務理事の2名が代議員として出席しました。

総会では、2020～21年度活動報告をはじめとする6議案が協議され、すべて承認されました。2022～2023年度活動方針では、長引くコロナ禍により、これまで経験したことがない深刻な事態を打開するためには、セーフティネットの強化が急務であり、そのためには、政府に要請するとともに、労働者自主福祉運動の原点に立ち返り、労働組合と事業団体がともに運動する主体となり、共助の輪の拡大を図り、支え合い・助け合いを地域に根付かせるために取り組まなければなりません。

ポストコロナ社会を見据えた運動を前進するために、「労福協の2030年ビジョン」の実現をめざし、加盟団体や関係する諸団体と連携をはかり2年間の活動を進めることとしています。

また、この度の役員改選により神津会長が退任され、新会長に芳野友子連合会長が就任されました。

「歴史から学ぶ労働運動と労働者自主福祉運動の理念・課題」をテーマに 鳥取県労福協2021年度全県研修会を開催

11月6日（土）、鳥取県労福協2021年全県研修会を開催しました。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえ、講師・参加者の皆さんの安心・安全の確保を考え、県内3会場（東部、中部、西部）のリモート研修会とし63名の参加のもと開催しました。

「歴史から学ぶ労働運動と労働者自主福祉運動の理念・課題」をテーマに、中央労福協講師団講師の高橋 均さんから最初に「連帯・協同・絆」の意味を考える1957年のドキュメント『ボタ山の絵日記』の映像を見たのち、労働組合と労働者



講師：高橋 均さん



米子会場より講演のお礼 西村副理事長

生協の始まりから、戦後、労働組合と生協の協力で生まれた中央労福協、労働金庫、こくみん共済coop〈全労済〉について、そして労働者自主福祉運動のこれからの役割などを、これまでの数多くの経験や研究に基づいて約100分の講演をいただきました。これから労福協活動等に活かすことのできる気づきを与えていただいたと思います。研修会後、参加者より今後も高橋さんの研修会の機会を望むとの声を複数いただき終了しました。

鳥取県労福協 第32回

囲碁・将棋大会を開催します！

☆みんなのご参加お待ちしています！！

開催日時 ■ 2022年2月13日（日）受付10時

開催場所 ■ 「まなびタウンとうはく」
東伯郡琴浦町徳万266-5（浦安駅東隣）

参加費 ■ 無 料

参加資格 ■ 県内勤労者の団体（労働組合・企業単位及び事業団体等）で、原則としてアマチュアであること、OBの参加も可能です。

※鳥取県労福協のホームページより申込書がプリントアウトできますのでご利用ください。



2019年度 第30回大会の様子

鳥取県の最低賃金

■ 地域別最低賃金

最低賃金の名称	時間額	発行年月日
鳥取県最低賃金	821円	令和3年10月6日

■ 特定（産業別）最低賃金

最低賃金の名称	時間額	発行年月日
鳥取県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金	825円	令和3年12月17日

詳しくは、鳥取労働局労働基準部賃金室(0857-29-1705)又は最寄りの労働基準監督署にお問合せ下さい。

発行責任者 本川博孝
発行日 二〇二三年一月
編集責任者 安部泰夫
発行 鳥取市天神町三〇番地五
編集委員 中島一彦・澤北和彦・横山美友・谷口美紀
（一財）鳥取県労働者福祉協議会 第313号

TEL(0857)27-4188